

# 仁淀川ガイド 観光・見どころ



巨大な水のトンネルは、  
未来へのトビラ。

## ① 大渡ダム



大渡ダムは、洪水調節、かんがい・水道用水の補給等、多目的ダムとして計画され、昭和61年度に完成しました。

## ② 牧野公園



佐川町が生んだ世界的な植物学者牧野富太郎博士ゆかりの公園。日本桜の名所100選に選ばれるなど県内でも有数の桜の名所です。

## ③ 沈下橋



仁淀川にある沈下橋(越知町浅尾)。沈下橋は地元住民の生活道として利用されています。

## ④ にこ淵



神秘的な青い色の滝つぼがある“にこ淵”。仁淀川の水は鮮やかな青い色をしており、“仁淀ブルー”と呼ばれています。

## ⑤ 新日下川放水路



新日下川放水路は、完成後もツアーや各種イベントの会場など、インフラツーリズムの場として活用されています。

## ⑥ 波川公園



いの町波川公園周辺では、GW期間中に、いの町特産の和紙で作ったこいのぼりを、仁淀川に泳がせる行事が行われています。

## ⑧ 仁淀川河口

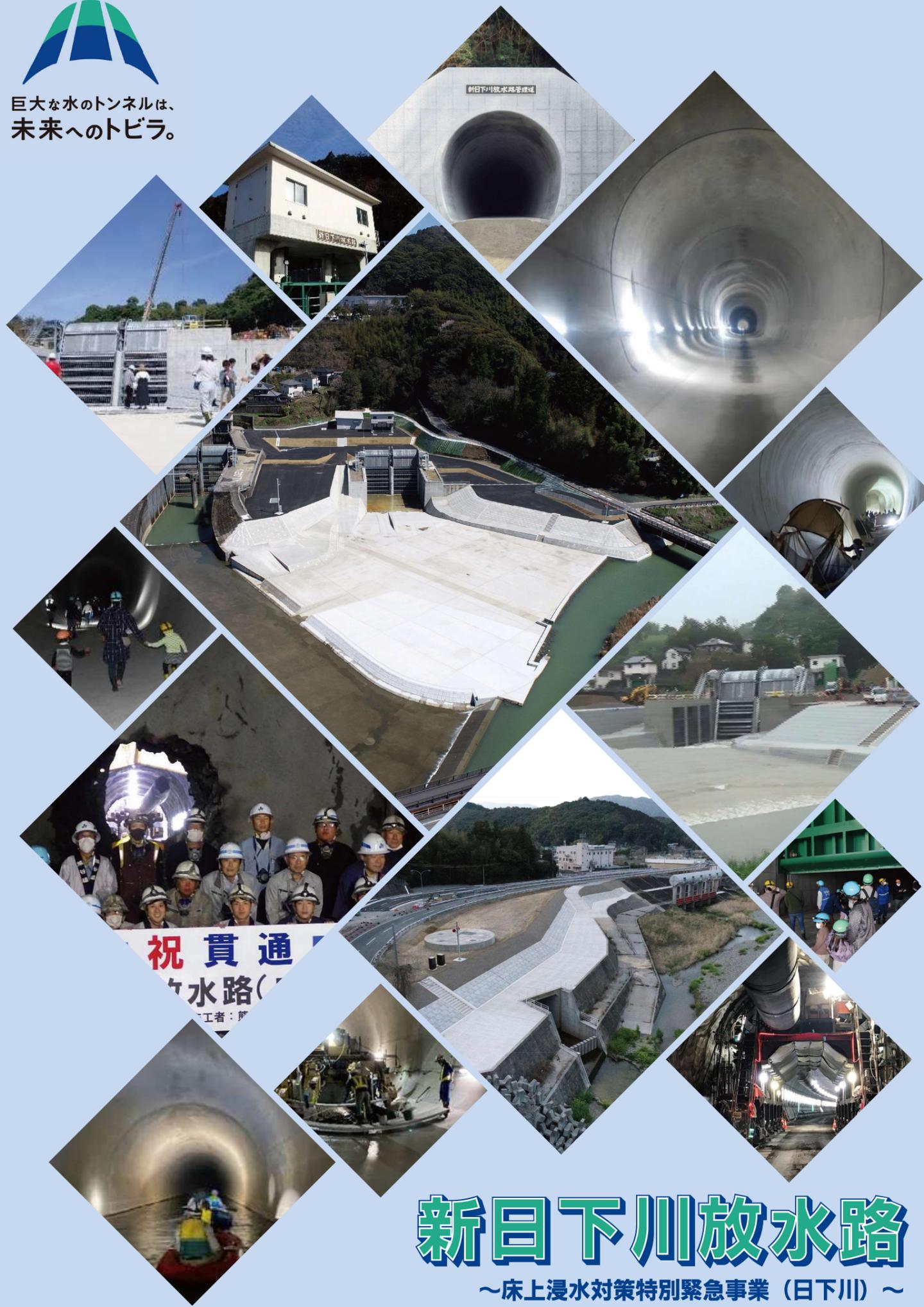


土佐市新居付近の仁淀川河口。サーフィンに適した波が発生しています。

## ⑦ 八田堰



野中兼山の遺構で知られる八田堰は、吾南地区の水源のために作られ、いの町の登録有形文化財となっています。



# 新日下川放水路

～床上浸水対策特別緊急事業(日下川)～



国土交通省 四国地方整備局 高知河川国道事務所

〒780-8023 高知県高知市六泉寺町96番地7 TEL088-833-0111(代)

URL <http://www.skr.mlit.go.jp/kochi/>

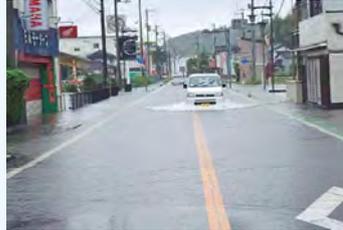
令和 年 月 改訂

# 浸水被害の状況と対策

## 浸水被害

平成26年8月の台風第12号では日高村で159戸が浸水し、また浸水により国道33号が最大18時間の通行止(日高村～佐川町)となり、JR土讃線も約70時間の運行休止(伊野駅～窪川駅)になるなど交通網も遮断され、甚大な被害となりました。

- ① 完成前の「村の駅ひだか」 ② 国道33号 ③ 沖名地区 ④ 日下川放水路(既設)呑口



## 国・県・村の対策とその効果

平成26年8月の台風12号、11号により立て続けに甚大な被害が発生したため、平成27年度に「床上浸水対策特別緊急事業(日下川)」が採択され、国土交通省では、日下川で3本目の放水路トンネルとなる新日下川放水路の整備を、高知県においても放水路呑口までの日下川及び戸梶川の流下能力を高めるための河川改修事業を、また、日高村においても局所的に低い家屋の浸水対策を実施しました。

### 国土交通省、高知県、日高村が一体となった浸水対策の取り組み

#### 新日下川放水路の整備(国土交通省)

日下川では、仁淀川本川の水位上昇に伴い、本川からの逆流防止のため神母樋門のゲートを閉鎖します。ゲート閉鎖後(洪水時)には、既設派川日下川(高知県)と既設日下川放水路(国土交通省)の2本の放水路から仁淀川へ排水を行っていますが、これだけでは平成26年8月台風第12号規模の洪水による床上浸水を防ぐことができないため、3本目となる新たな放水路を新設します。

#### 日下川・戸梶川の河川改修(高知県)

新日下川放水路より上流の日下川・戸梶川の河川改修を実施することにより、放水路呑口への流入を促進します。

#### 局地的に低い家屋の浸水対策(日高村)

放水路の新設および河川改修だけでは床上浸水を防げない局地的に低い家屋に浸水防止壁や周囲堤の設置を行います。

#### 土地利用に関するルール作り(日高村)

日高村水害に強いまちづくり条例を整備し、新たに居室を建築する場合に居室の床高を規制するとともに、雨水の貯留浸透機能、洪水の遊水機能を保全するため土地利用を規制します。

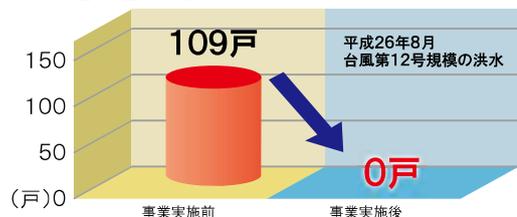
### 床上浸水対策特別緊急事業等の効果

平成26年8月台風第12号洪水規模に対して床上浸水被害を解消

#### 対策事業の効果イメージ図



#### 全事業を実施した場合の床上浸水個数



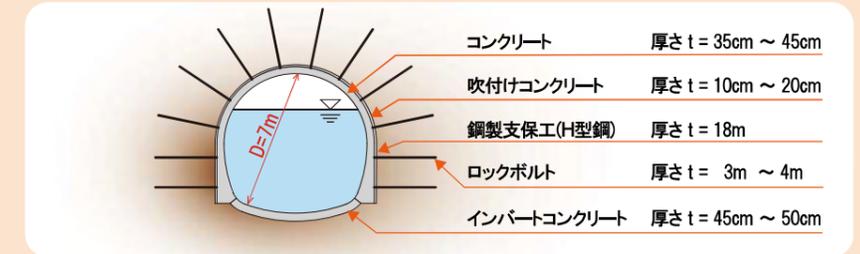
# 新日下川放水路の概要

## 工事内容(トンネル部・呑口部・吐口部)

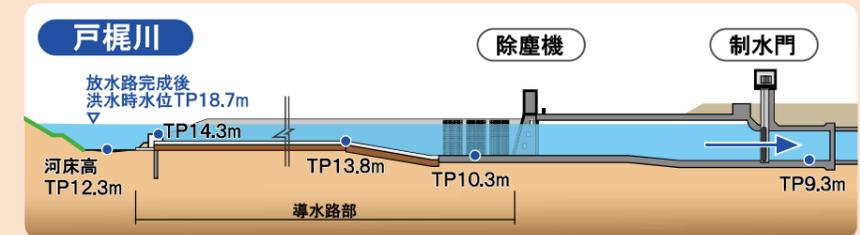


工事期間：平成30年1月 ~ 令和6年3月  
 工事規模：トンネル延長5,130m・呑口導水路200m・吐口工38m  
 工事内容：**トンネル部** 掘削・支保工・覆工コンクリート・防水工  
 パイプルーフ工など  
**呑口部** 導水路工・制水門・除塵機・地盤改良工など  
**吐口部** 導水路工・接続ます工・地盤改良工など

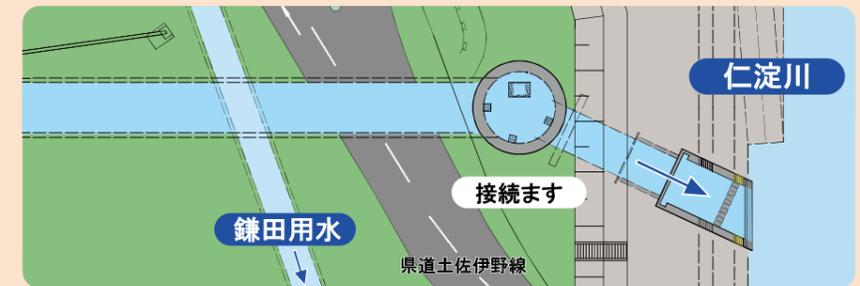
### ■トンネル部(標準断面図)



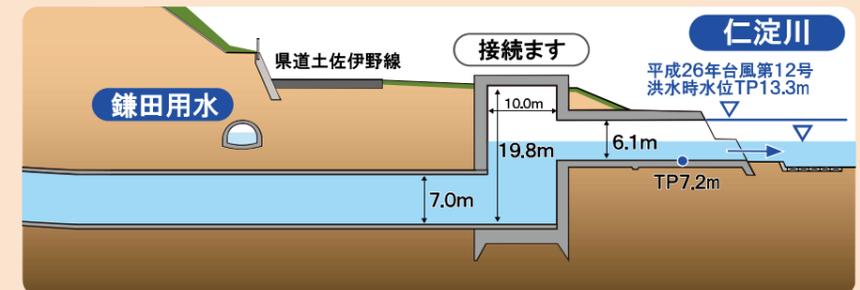
### ■呑口部(断面図)



### ■吐口部(平面図)



### (断面図)

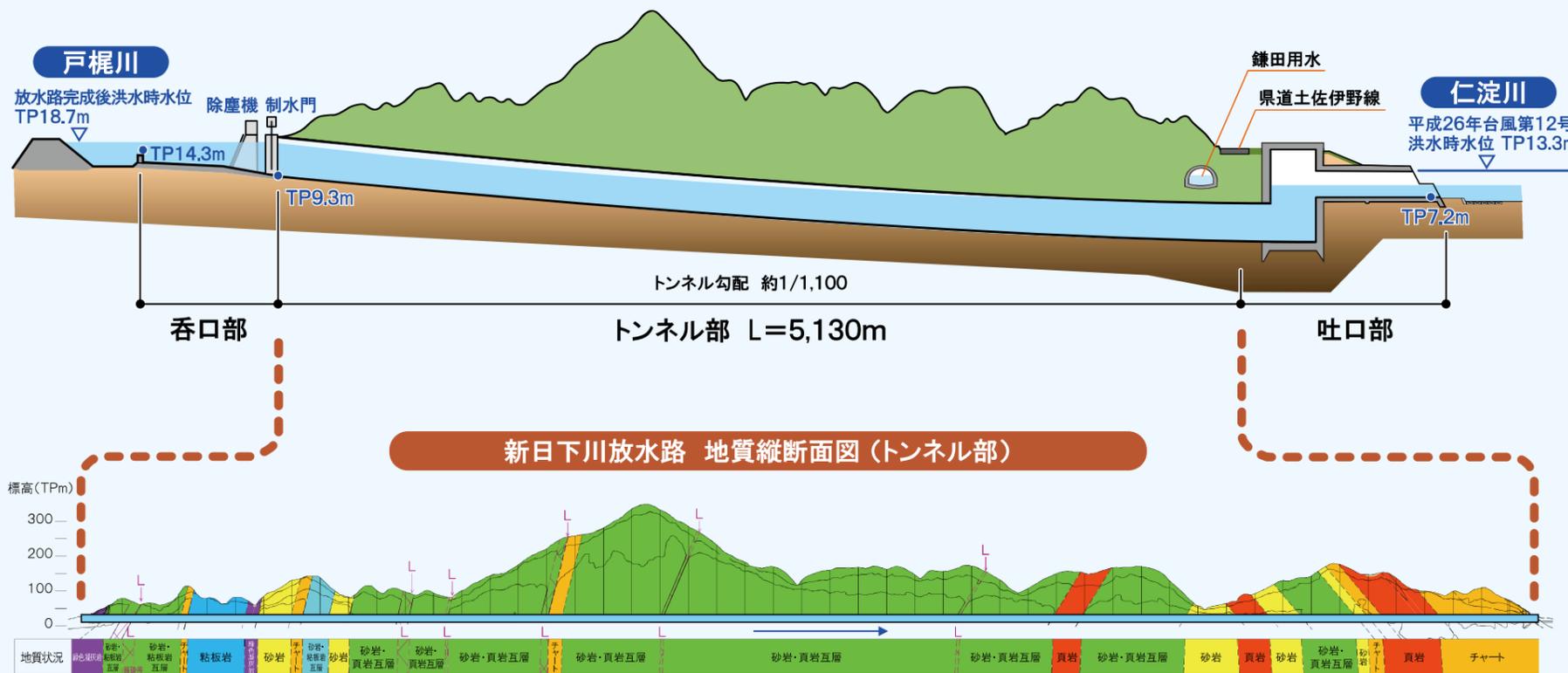


### 接続ます

吐口側においては、既存の「鎌田用水」や「県道」に影響を与えないため、アンダーパス形式により放水路を立体交差させており、接続ますの逆サイフォン構造により仁淀川へ放水します。

## 新日下川放水路 模式図

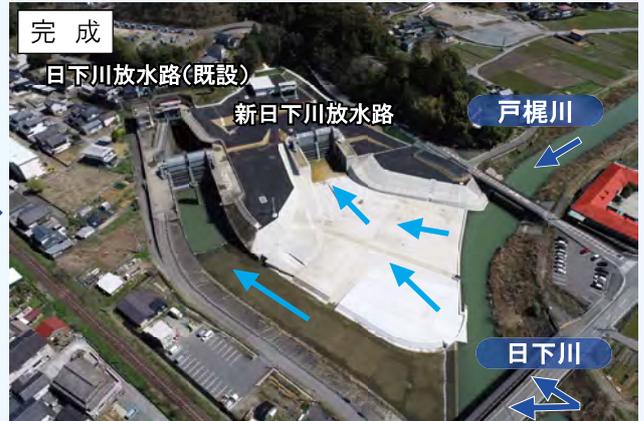
新日下川放水路は、既設放水路に隣接して呑口を設け、南の谷川(いの町)の下流に吐口を設けました。総延長は5,368m、うちトンネル部は5,130mの延長があり、直径は7m、最大放流量は約130m<sup>3</sup>/sです。



※L(リニアメント)とは、変位や地質の異なる地質の境界で地表に現れたものである。地盤の弱い断層であることが多い。トンネル掘削においては、湧水が発生し易い。

# 新日下川放水路の施工

## 新日下川放水路 呑口部



新日下川放水路の呑口は、日下川放水路(既設)と隣接した位置に整備しました。

## 新日下川放水路 トンネル部

### NATM (ナトム) 工法

掘削した岩盤にコンクリートを吹き付け、ロックボルトで地山を一体化し、地山の緩みを抑えることでトンネルを安定させ、掘り進めていく工法です。

#### 1 削孔



岩盤に爆薬を詰める穴を開けます。

#### 2 発破



削孔した孔に爆薬を詰め岩盤を爆破します。

#### 3 ずりだし



発破で砕いた岩石をトンネルの外へ運び出します。

#### 4 鋼製支保工



掘削面にコンクリートを吹き付けて、支保工を設置します。

#### 5 吹付けコンクリート



地山を安定させるため再度コンクリートを吹き付けます。

#### 6 ロックボルト



コンクリートを吹き付けた後、ロックボルトを挿入します。

#### 7 覆工コンクリート



トンネル外周に覆工コンクリートを打設します。

#### 8 インバートコンクリート



底盤のインバートコンクリートを打設します。

## 新日下川放水路 吐口部

